

一部事務組合報告

小川地区衛生組合議会

○環境衛生常任委員会

平成30年1月22日、環境衛生常任委員会が開会され、昨年10月6日実施の「上尾市西貝塚環境センター」及び加須市所在「株式会社ダイヤ整環」行政視察の意見集約を行った。

【意見要旨】

●小川地区衛生組合管内では、雑がみ資源化への取り組みは十分ではない。資源化促進の啓もうを図り、リサイクルの輪の拡大に繋げる必要がある。排出者の意識改革、適切な規制と指導について提言する。

○平成30年第1回定例会

2月20日(火)午前10時より、小川町



上尾市の取り組み

役場議会議場にて開催。管理者提出議案4件及び議員提出議案1件が審議され、全て可決。

一般会計補正予算

施設突発修理少なく減額

繰入金額の減額等により4866万円減額し、17億3514万円に補正。

一般会計当初予算

脱水設備工事終了で減額

歳入歳出それぞれ12億4098万円。前年比較4億4641万円減。

議員提出議案・会議規則改正 質疑回数等の改正

●小川地区衛生組合議会会議規則第2条に「出席のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出できる」旨の1項を追加(男女共同参画を考慮)。第51条では、質疑回数を2回から3回に改正(議会運営の充実を図るため)。

比企広域市町村圏組合議会

平成30年第1回定例会は2月7日東松山市議場で開会。提出された議案は全て可決。

一般会計予算 議会運営事業

440万円

職員給与事業

5302万円

消防特別会計

879万円

嵐山消防団報酬事業

3044万円

嵐山分署高規格救急自動車

3044万円

斎場及び霊きゆう自動車 車事業特別会計

2億5483万円

斎場建設工事費

2046万円

工事管理費

2046万円

斎場建設工事期間は平成30年度から平成32年度、

総工事費は24億84万円、

工事管理費は1億56万円。

平成30年度 比企広域市町村圏組合 予算額一覧

(1万円未満切り捨て)

会 計 名	平成30年度	平成29年度	増 減 額	増減率%
一 般 会 計	7800万円	7600万円	200万円	2.6
特 別 会 計				
消 防 特 別 会 計	30億2000万円	31億9000万円	△1億7000万円	△5.3
斎場及び霊きゆう自動車 事業特別会計	3億6100万円	1億7200万円	1億8900万円	109.9
介護認定及び障害支援区分 審査会特別会計	6600万円	6700万円	△100万円	△1.5
比企広域公平委員会特別会計	60万円	60万円	0	0.0
小 計	34億4760万円	34億2960万円	1800万円	0.5
総 計	35億2560万円	35億 560万円	2000万円	0.6

埼玉中部資源循環組合議会

●平成30年第1回定例会が吉見町議会議場にて2月8日(木)に開会。

議案内容は

議案第1号 埼玉中部資源循環組合が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続きに関する条例の制定について

議案第2号 埼玉中部資源循環組合一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

議案第3号 埼玉中部資源循環組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について

議案第4号 平成29年度埼玉中部資源循環組合一般会計補正予算(第2号)について

歳入歳出の総額からそれぞれ3593万円を減額し総額をそれぞれ

5億1472万円とする。

議案第5号 平成30年度埼玉中部資源循環組合一般会計予算について

歳入歳出総額をそれぞれ8億1900万円と定める。

採決の結果は、全会一致により全ての議案が原案可決された。

平成30年度 構成市町村負担金総額は3億9656万円で、このうち嵐山町負担分は6・6%の2612万円。



(仮称) 埼玉中部資源循環センターの予定地

研修 友会 会 派 研 修 友 会

平成30年2月5日～6日
神奈川県寒川町
愛知県新城市

神奈川県 寒川町議会

「議会のICT化、タブレット端末導入の経緯と運用状況」

議会改革を推進するため、3つの部会で検討、現況で年間10万枚以上の資料ペーパー、多くの人件費コストが削減。他の効果は。

問 執行側と合わせての導入に課題は。

答 執行側は既にパソコン導入で独自サーバ



会派研修 (寒川町・2月5日)

愛知県新城市

果は。答 会議、防災関連の情報共有が可。災害時訓練でもテレビ電話、動画が活躍する。

「若者議会の導入は」

若者が活躍する町を目指し、若者総合政策にて「若者が活躍できるまち」新たな若者参加の仕組みを構築。平成26年より若者政策ワーキンググループが誕生。活動が評価され、平成27年4月に「新城市若者条例」が施行となる。構成は高校生、大学生、市職員等の19名。議会の承認も得、事業予算1000万円を獲得、若者が市を展望、若者独自の事業を展開している。現在、全国から注目の市となり、視察が相次いでいる。